

弥富市長の安藤正明でございます。

コロナ禍で始まった令和3年が、まもなく終わろうとしております。

この1年は、新型コロナウイルス感染症を抑え込む為、2回のワクチン接種を市民の皆様のご協力と職員の頑張りによって進めることができました。

また、1年遅れて開催された東京2020オリンピック・パラリンピックでは、日本が過去最高のメダルを獲得するなど、私達国民に多くの勇気と感動を与えてくれました。

その余韻冷めやらぬ9月の後半からは、感染症の第5波が急速に収まり、日常生活が戻りつつありましたが、都市部でデルタ株と並んで警戒度が最も高い「懸念される変異株」に指定されております、新変異株「オミクロン株」の市中感染が報告され始めたことにより、再び緊張が高まっております。

本市としましては、これまで以上に、職員一丸となって、市民の皆様の健康と暮らしを守ることに全力を挙げ、国・県と連携し、感染拡大防止に努め、この難局を乗り越えていきたいと思っております。

そして、市民の皆様には、来年2月より2回目接種終了から8か月以上経過する方を対象に、個別医療機関におきまして、3回目のワクチン追加接種の準備・調整を進めてまいります。

今度こそ、ワクチン接種・経口薬等によりコロナが収束して、これまでの日常生活に早く戻れることを祈っております。

そのような中、令和4年4月には、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止も視野に入れなければなりません。が、感染症対策に十分配慮し、「桜まつり・芝桜まつり・藤まつり」といった「三花まつり」が安全で安心して開催できるよう準備を進めてまいります。

また、その他の行事につきましても感染防止対策に配慮しながら進めてまいります。

年末から年始に向け、帰省や初詣などの県をまたぐ移動が増加することと思います。

引き続き、再び感染拡大させないためにも、マスク、手洗いや手指消毒などの基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

今年も、残りわずかとなりました。

今年1年の市民の皆様の市政運営に対しますご理解・ご協力を心から感謝を申し上げます。

これから、寒さもいっそう厳しさを増してまいります。

市民の皆様におかれましては、健康にご留意され、良き新年を迎えられますとともに、新しい年が、希望に満ちた輝かしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和3年12月27日

弥富市長 安藤 正明